

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の 事業実施報告（効果検証）

男鹿市 観光文化スポーツ部
男鹿まるごと売込課

1 事業名

「秋田の元気は港から！」みなと賑わい創出プロジェクト

2 実施主体

秋田県、秋田市及び男鹿市（広域連携事業）

3 事業期間及び事業費

- ・事業期間 令和4年4月～令和5年3月
※事業採択期間 令和4年4月～令和7年3月（3年間）
- ・事業費 58,399 千円（うち、地方創生推進交付金 29,199 千円）
※事業採択期間中の総事業費 252,533 千円（うち、デジタル田園都市国家構想交付金 126,266 千円）

4 事業の概要

- ① 港及び地域の魅力向上と受入態勢の整備
- ② 効果的なプロモーション等による認知度向上

5 令和4年度の取組状況

- ・道の駅おが等の男鹿駅周辺エリアにおけるイベントの開催及び開催支援による人流の創出
- ・観光資源の映像化等による港周辺の体験コンテンツのブラッシュアップ及び地域の魅力向上（寒風山ジオサイト・VR・AR等）
- ・フォトコンテストの実施による本市の観光資源の再発見・認知度の向上

6 本事業における重要業績評価指標（K P I）及び実績（令和4年度）

K P I 項目	申請時	R 4 目標値	R 4 実績	令和5年度 対応状況
道の駅おが入込客数（人）	446,000	466,000 (+20,000)	561,408 (+115,408)	継続

7 結果、課題と対応等

- ・予定されていた船川港へのクルーズ船の寄港が中止されたものの、関係団体との連携の下、男鹿駅周辺でのイベント開催等により、感染対策と集客の両立に努め、地域の賑わいづくりに取り組んだことにより、目標の達成につながった。
- ・令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うクルーズ船の寄港再開など、観光需要の回復の状況を踏まえ、寄港時の受入態勢の整備や観光資源の磨き上げによる観光客への訴求力のさらなる向上が課題となる。
- ・周辺自治体はもとより、DMO等の地域の民間団体との連携により、観光客のニーズの把握に努めながらクルーズ旅客向けの着地型観光の充実と積極的なPRに取り組み、船川港周辺の賑わいづくりから市内への波及につなげていく。